

2009年(平成21年)7月27日 月曜日

性教育の在り方をテーマに開かれた  
全国大会

## 性教育の在り方考える

岡山でセミナー

# 正しい知識の指導重要

「第32回性教育指導

考えた。

セミナー全国大会」(日本産婦人科医学会主催、山陽新聞社など後援)が26日、岡山市北区駅元町、岡山コンベンションセンターであり、県内外の医療、教育関係者ら約800人が性教育の在り方について

岡山大学院の中塚幹也教授が「いつまでに? どこまで?」と題し講演。中高生の性感染症や人工妊娠中絶の増加が社会問題化していることに触れ「行政や学校、医療機関が連携し、子どもたちに

正しい性の知識を身に付けさせることが重要」と呼び掛けた。産婦人科医、保健体育・養護教諭らもそれぞれの立場から、段階的な性教育や家庭・地域ぐるみの取り組みの必要性などを訴えた。保健体育教諭田中信人

さん(35)は「さまざま  
な人の意見が聞け、授  
業に参考になった」と  
話していた。

(小谷章浩)